



2016



東京家政大学 家政学部

環境教育学科のキャリアデザイン

環境教育学科では、「暮らし」を中心とした環境問題に内在する諸問題を理解し、それらの問題を「環境」・「自然」から学ぶことで解決方法を考察できる人材の養成を目標としています。

平成 27 年度学科企画

環境教育学科では、研究室に所属するまで正規カリキュラムと並走するかたちで、5つのコース（「教員志望コース」「公務員（総合職）志望コース」「公務員（技術職）志望コース」「企業（技術職）志望コース」「企業（総合職）志望コース」）の学年横断的な支援室を設置しています。

そして、そのような職の現場に実際に触れ、社会人と協働できる「環教インターンシップ」を展開しています。また、その基礎力をつけるために、自然体験や企業既存プログラム体験などの「環教フィールドワーク」も実施しています。

学年がすすむにつれて明確なキャリアプランを描けるようになるために、志望先の選択からその強化までが連続的にできる、キャリアデザインづくりのためのさまざまな“体験的学び”を紹介します！



環教フィールドワーク

「西表島実習」～協力：琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設～

西表島に4泊5日で滞在し、亜熱帯の環境、生態系について学びました。

事前学習

昨年度までに製作された「提案ショートムービー」を参考に、学びの成果として「パンフレット製作」の計画を立案して、当日に臨みました。

現地では、日中は亜熱帯林、マングローブ林、海岸を訪れ、そこで生息するさまざまな生物を観察しました。夜には、観察した生物について本やインターネットでさらに詳しく確認しました。



1日目 ナイトウォーク



明かりの無い中、夜行性の生物を探しました。セミの羽化や、幼虫でも光るホタルなどを観察することができました。



2日目
亜熱帯林



カンピレーの滝を目指して川沿いを廻りました。途中までの船上では、マングローブ構成種について説明を受けました。船を下りたあとは歩きながら様々な動植物を観察できました。到着したカンピレーの滝では、海が近いからこそ生息できる大型のテナガエビも観察できました。

3日目
マングローブ林



干潟からマングローブ林に入り、オキナワアナジャコや天然記念物であるニッパヤシなどを観察できました。



4日目
サンゴ礁



白い砂浜と青い海が印象的でした。浅瀬でも色鮮やかなたくさんの魚を観察できました。

事後学習

学科全体へ学びを紹介するべく、西表島で学んできたことをパンフレットにまとめました。

環教インターンシップ
「さくら緑地活用」～東京都北区～

北区音無さくら緑地において、自然環境の維持・改善に努めていきます。まず生物の現況調査から開始し、順次改善を進め、区民の方々に自然環境および「環境教育」への関心を高めてもらうことを目標にしています。

このプログラムは、北区の環境課、道路公園課、北区環境教育を進める会との協働のもと、進められています。



2015.10.14 No. 1

さくら緑地通信

二誌種ニュース創刊にあたって
音無さくら緑地の管理事業が始まりました。この事業は北区と北区環境教育をすすめる会、東京家政大学環境教育学科の三者が協働で行っているものです。環境教育学科としては、「学科強化企画」「環境フィールドワーク」の一環として、取り組まれています。緑地の自然環境調査や巡回を通して学生が学び、成長する場になってくれることを願っています。
このニュース創刊はこれから始まる長い活動の第一歩です。これから起きるたくさんのお話を、学生とさくら緑地の姿とともに、お伝えしていきたいと思っています。 片田 真一

さくら緑地ってどんなところ???

さくら緑地は家政大学から徒歩で行けます。徒歩15分くらいで途中には石神井川があり、その川沿いに多くと見えます。さくら緑地は高層の商業地帯の中にあって、思いのほか1層できるような仕組みになっています。入り口を入るとすぐ自然に覆われており、坂を下りながらその自然を味わうことができます。降りていくと、アジサイの出だせてくれ6月には綺麗なアジサイ道を楽しむことができます。道を抜けると広場になっており、そこでは誰から飲み出して来る川を見ながらお弁当を食べることもできます。ただし、蚊が非常に多いです。広場を抜けるとドングリがたくさん落ちており、用の店はドングリだけなんです。形模の平金採り階段を上ると出口となっており、お散歩して寄るにはちょうどいい大きさです。 公式サイトページ <http://www.kobai.ac.jp/kyokushin/sakuragreenland/> によるよ。ツバメが1羽1羽と見えます。7本、ヤブコウジは24本、ヤマモミジは13本、アジサイは638株植えてあり、春夏秋冬楽しむことができます。

さくら緑地に行ってみて……

生物多様性研究室のメンバー8人（2人欠席）の感想で1番多かったのは「蚊」に刺されるということでした。現状では、しっかり長袖、長ズボンを着用していないと全身刺さられます。夏に刺されると虫は簡単に見ることができなくなりましたが、木の根元などをよく見るまま活動している虫に出会えることができ、東京に虫や自然に触れ合える場所があるのは素晴らしいと感じた人が多かったんです。ここを、緑地に入ってみると目星はあるが、少し薄暗い印象だった為地域の人が入りやすい環境にしたい、自然を維持する時は幼虫、小さい子供達が虫に触れ合えるような、また今は水は多くないので増やして水辺の生物を観察できるように環境を変えていきたい。などの意見が出たので、これからのさくら緑地改革に力を入れていきます。

講師先:東京都北区 環境教育科 生物多様性研究室 03-5861-4719 kobaibio@koba.ac.jp



最初の活動は「樹種の調査」と「落ち葉溜めづくり」でした。緑地内にある大切な資源の循環を促し、豊かな自然環境づくりを目指します。
引き続き、季節ごとに動植物調査を行い、現状の把握をします。



「環教フィールドワーク」「環教インターンシップ」



環教フィールドワーク 「大規模ビオトープ見学会」～キリンビール株式会社～

授業で学んできた自然環境の仕組みや様々な環境問題をふまえて、キリンビール株式会社さんで取り組んでいる横浜工場のビオトープを見学しました。

見学を通して、キリンビール株式会社さんが実際に取り組んでいる環境対策を深く知ることができました。



環教インターンシップ 「親子向け環境講座の開催」～キリンビール株式会社～



昨年度の計画を生かし、キリンビール株式会社横浜工場さんのビオトープを会場として、親子向けの環境講座を開催しました。開催にあたって、キリンビール社員さんとNPO 法人 TR ネットさんと本学科学生が連携し、スタッフとして参画しました。



環教インターンシップ

「北区環境展」～東京都北区～

出前授業

実際の小学校の教室で、エネルギーをテーマに2年生へは「風力発電」、5年生へは「火を扱った実験」の出前授業を行いました。指導案づくりや予備実験、授業を通して、教えるということの楽しさ、大変さを実感しました。



パネル展示

テントブースでは、発電の仕組みや化石燃料についてのパネル展示、スタンプラリー形式でのクイズを出題しました。



環教インターンシップ

「環境教育プログラムの開発、販売」～ JTB コーポレートセールス～

株式会社 JTB コーポレートセールスさんの「旅いくプログラム」として、環境実験プログラムを商品として実際に開発・販売しました。

当日は参加者の補助につきました。参加者の方からは活発な質問があり、環境に興味をもってもらうことができたようです。環境実験プログラムの商品化を通して、「働く」ということの一部を学ぶことができました。

参加者が当日に用いる実験手順のしおりやワークシートも、内容からデザインまで自分たちで一から作りました。



学科企画編集委員会 編集後記

編集作業を通して、「環境」「教育」に関わる仕事について知ることができ、さらに、まだまだ多くの職があることにも気づきました。そして、私たちが授業で学んでいることを改めて整理してふりかえることができました。

学科で学んだことをどのように社会に活かしていくのか、具体的なキャリア像も目の当たりにして実感を深めることができました。

ご協力いただいた自治体・企業の皆様に深く感謝申し上げます。



平成27年度 環境教育学科
学科企画編集委員会

稲葉麻美	鈴木萌水
鶴山育衣	蓼沼舞
大森美幸	中山恵恋
菊池ゆり子	西田晶
佐々木萌絵	南澤美玖
塩田優	山下果穂
島田りな	和田彩央里
杉山奈々美	

発行：2016年1月
編集：東京家政大学 家政学部 環境教育学科
学科企画編集委員会
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/kankyo/index.php>
印刷：株式会社 美創企画



東京家政大学 家政学部 環境教育学科